

組子ベッド百報

2012. 3-4 月号 (No. 15)

著作権は、(株)総桐筆筒和光が所有します
代表取締役 加島清治
〒830-0424 福岡県三潁郡大木町三八松 1048
TEL/0944-33-1421 FAX/0120-279-050
<http://kumikobed.com/>

このニュースターは”組子ベッド・販売様向け”に編集したものです。組子ベッド、桐たんす、新製品、販売ハウツー、展示会案内、販売店様相互の話題、その等、売上増進繋がる生きた情報を提供していきます。年6回(奇数月)に発行。保管をお願い致します。



となり町の柳川市では、雛祭りには、ひな壇とともに吊りさげられる「さげもん」と呼ばれる吊るし雛を飾ります。年々盛んになって、観光名物でもあります。いまや専門店も数店あり一大産業となっています。「さげもん」とは、お雛様と一緒に、天井から部屋いっぱいにはさげられる、たくさんの色鮮やかな鞠や人形といった飾り付けです。写真は柳川の名所”御花”の「さげもん」です。さすがにお殿様の別邸ということで、さげもんの数もさることながら品があつてとても豪華です。本館の「御役間」を中心に、雛壇とともに「さげもん」が所狭しとさげられます。

2012年 柳川雛祭り さげもんめぐり
開催期間:2月11日(祝・土)~4月3日(火)

配送に関して

いままで西濃で個人様宛も出荷してましたが、個人配達料金が3月1日から大幅に料金がアップ。通常料金にくわえ追加料金として、平日で3,000~15,000円、日曜祝日はチャーター扱いということで15,000~30,000円かかるということになりました。個別配達も半額程のご負担をお願いしてありますので、これでは、当社としても貴店にとっても負担は大。それで、他の配達先を探したところ、福山通運が、西濃より若干高いものの、平日も日祭日もOK。また、時間指定も豊富でした。それで今後は下記の様に致しますのでご了承下さい。

- ・西濃便・・・店舗配達/月~金曜は午前か午後、土日祝の時間指定はできません
- ・福山通運・・・個別配達/通年、時間指定 10-12,12-14,14-16,16-18,18-20時

< こちパーツと仕様変更について >

こちのパーツ価格公開。また、宮が不要な方もあるようなので、仕様変更ということで承ります

こち仕様変更価格表(H24.02/09)

シングル	引き値	販売価格
変更なし	—	168,000
宮なし	△ 20,000	148,000
宮なしでヘッドボードを高く(73cm以内)コンセントーなし	△ 10,000	158,000
宮なしでヘッドボードを高く(73cm以内)コンセントー有り	△ 8,000	160,000

セミ	単価	販売価格
変更なし	—	198,000
宮なし	△ 22,000	176,000
宮なしでヘッドボードを高く(73cm以内)コンセントーなし	△ 11,000	187,000
宮なしでヘッドボードを高く(73cm以内)コンセントー有り	△ 9,000	189,000

こちパーツ販売価格表(H24.02/07)
破損した場合のみパーツ販売致します
ご発注は、ご購入された販売店へ



シングル	単価	数	合計
宮	35,200	1	35,200
ヘッド・フット	22,600	2	45,200
フレーム	23,200	2	46,400
組子	10,500	5	52,500
スノコ	6,400	3	19,200
総計			198,500

セミ	単価	数	合計
宮	38,200	1	38,200
ヘッド・フット	24,600	2	49,200
フレーム	23,200	2	46,400
組子	10,500	6	63,000
スノコ	8,300	3	24,900
総計			221,700

< 販売店情報 >

- ・3/2 販売店に函館市の"やすらぎショップ タジマ寝具"様が加わりました
- ・2/20 東京都新宿区四谷の"筆筒の松本"様、"あんばい"に続き"こち"も展示されました
- ・2/5 大阪府泉北郡忠岡町の"ふとんのフジヤ"様、"あんばい"に続き"こち"も展示されました
- ・1/31 横浜市の"たかせや"様に"あんばい"に続き"こち"も展示されました
- ・1/11 販売店に岡山市の"中西ふとん店"様が加わりました

< 組子ベッド・販売店支援ページ(限定) /入室パスは、"i i bed" >

TV和風総本家であった「ふとんの再生」を、組子ベッドの販売店支援ページに動画掲載しました。しかし、ふとん作りって、けっこうハードな仕事ですね。



■ あち～～燃えよる



ガスバーナーにて桐材を焼いているところです。炎は近すぎず、遠すぎず焼き加減を見ながら横に移動しながら焼いていきます。ポ————っという凄い音でラジオなんか聞こえない(笑)今時は寒いのでそうでも無いけど、夏は汗だくです(^_^) by 工場長

■ 悪徳商法[2012年02月09日(Thu)]

国民生活センターからの悪徳商法に関する情報



訪問販売で次々と羽毛布団などを買わされ、家の中に未使用の布団がたくさんある。

2カ月前から同じ業者が何度も来て、勝手に部屋に上がり込み布団を置いていった。布団は特に必要なかったが仕返しが怖くて断れず、今まで誰にも相談できなかった。

支払いは全て現金で、業者と一緒に郵便局に行ってお金を下ろしたこともあり、総額で400万円以上支払っている。業者に「暗証番号を教えてくださいれば自分が下ろしてくる」と言われたこともあったが、それは断った。

契約書は6枚あるが、一度に300万円払ったものと最後に契約したものしか覚えていない。(90歳代 女性)

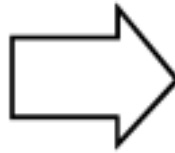
■ 関係者のみぞ知り、関係者慌てる



テレビ運命の人に、総桐の一間たんすで美術協力しているのに、なかなか我が社の筆筒が出てこない。第一話と第4話に一瞬。関係者のみぞ知る(^_^)

先月企画したうちの特別催事「運命のくじ」。なんと一等が、ご友人同士で来社されたご両人に当たって、お客様もビックリでしたが、私らもビックリ。1等は3本あるのに、同時に2本はそう当たる確率ではない、1等数を入れ間違ったのではと、入れた本人(専務)に問いましたが、間違いはないということで、超偶然が起こったということでした。

■お客様の声：伝え継ぐ一助



当社製品をお買い上げの方には、ご感想として「お客様の声」をちょうだいすることがあります。自由記載方式ですが、たくさんの思いと感謝をいただき、社員全員で読み、よりよい製品作りの源にもなっています。ほんとうにありがたいことです。

下記は、佐賀市内の方からいただいたものですが、一度再生されていたようですが、色もまばらになっているし、丸い金具の座もバラバラ。一番下にある「台輪」というものもない状態でした。

—お客様の声—

Googleの検索サイトを使って「桐たんす再生」で検索したところ、ヒットしました。以外と近く(三潴郡大木町)にあるということで、佐賀市内でも来て下さるかな・・・と思って連絡してみました。

おばが使っていたものですが、昨年夏亡くなりまして、遺品の整理をしていたのですが、おばには子供がなく、捨てられてしまうのは心苦しく、おばが生きていた証として、次の世代(誰になるかは、まだ分かりませんが)に残していきたいと思いました。立派に再生して頂き、本当にありがとうございます。おばのことを思って大切に使う方に、引継をお願いしたいと思っています。

ひとりぼっちの飛行機飛ばし！

今日は新しく香港から買った受信機のテストで、午前中着いたら誰もいません。チョット、トーンダウンしながらも、テストフライトは無事終了。しかし、今日は寒い上に強風。おまけに雪まで降ってきて、フライトですごく退散しました。

約20年ほど前からラジコン飛行機をいじる専務の話でした～



がんばろうニッポン

(株)総桐筆筒和光

DNA

我が社の遺伝情報であり、会社史であり、備忘録あり、
自分史あり、ドキュメンタリーでもあります



■電気毛布一枚あれば、思っていたが・・・



古い話です。中学1年の頃、電気毛布なるものをバイトで貯めたお金で購入。これ一枚で、いままでの毛布も、重い掛け布団も入らない。と、信じて疑わなかった。ところが、数日もしないうちに、こりゃダメだに。サーモスタットは付いているものの、ONでは、じわ〜と暑いし、OFFになったらとたんに寒い。掛けるのは止めて、敷きにしたけど、やっぱりダメ。自分の体温が一番正直で、布団にくるまっただけの方が快適でした。

手前味噌ですが、掛け布団、敷き布団に、ベストマッチは組子ベッドです。畳に布団より、ずっとずっと快適です。



■社名の由来

「総桐筆筒和光」という社名の由来です。

"和光"と文字を国語事典で引いたら、わこう（・・クウウ）

1)徳の光をやわらげつつむこと。知恵を外に現し示さないこと。

2)仏語。仏菩薩が威徳の光をやわらげ、仮の姿を衆生の中に現すこと。和光垂迹。

和光同塵。また、その仏菩薩。

3)おだやかな威光。なごやかな光。

とあります。

前会長が、東京に行った時に、銀座通りにある"和光"に入って、たくさん的高级な品があり、それでもはっきりなしにたくさんのお客があった所をみて、こんな会社にしたいたいということで"和光"にしたそうです。この名前をつける当時のことを、うっすらと覚えてますが、東京から帰ってきて、社名のことを話したおやじが、興奮気味に話したことが記憶に残ってます。

当初の社名は、当時木彫をやってましたので、和光と木彫をくっつけて「和光木彫工芸社」でスタート。その後、法人となり、木彫も陰を潜め、桐たんすを製造することになったので、(株)総桐筆筒和光となった次第です。

穏和で包み込むような穏やかな光を放ち、高級でありながらも、お客様が自社に来てくれるメーカーになることが目標なのです。

